

◆ 大会組手試合規定

* 最新をホームページで確認ください。

試合基準

SJC & SSCの試合ルールは常に幾多の大会に対応して開催しています。

有効な技	手 技	中段への拳突き・肘打ち・手刀
	足 技	急所や関節以外の攻撃 【条件付】上段膝蹴り（中学生以上）・回転胴廻蹴り（全初級不可）
無効な技 (反則含む)	手 技	掴み・引っ掛け、押し。体に掌底、鉄槌、貫手、孤拳、腕刀での攻撃（受身除く）
	足 技	関節への攻撃、下腹含む金的【条件付】上段膝蹴り（小学生以下）・回転胴廻蹴り（初級以下）

* 試合時間、シニア試割り判定基準は別紙参照

勝 敗

- 勝 利 一本勝ち・判定勝ち・相手側の失格行為による、反則勝ち。
- 一本勝ち 一、反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘を決め、相手を戦意喪失させた場合。
一、「技あり」2回で一本勝ちとする。
- 技あり 一、反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘を決め、相手が一時的に止まった場合、または、その攻撃で倒れた場合。
一、上段蹴りは顔面への接触だけでは認めず、威力の具合を重視します。
一、中段蹴りがタイミングよく決まり、相手が倒れたり、動きが止まって直後に相手に残心を決めた場合。
一、足払いを含む下段蹴りがタイミングよく決まり、相手が倒れたり、動きが止まって、直後に相手に残心を決めた場合。
- 判 定 一、一本勝ちの決まらない時は判定で勝敗を決め、引き分けの時は延長戦を行なう。
* 三位決定戦や決勝戦は再延長戦をおこなう。
一、延長戦（再延長）でも引き分けの場合は、体重測定をし、規定の差で軽い方が勝者とする。（別紙参照）
一、規定体重差未満の場合は、最終延長をおこない、絶対判定とする。
* 最終延長戦の時間は本戦と同じ時間となる。
- 反 則 一、上記記載のクラス反則行為を確認してください。
一、頻繁に手技による頭、顔面、首への攻撃は注意1とする。
一、金的や逆関節攻撃などで負傷させた場合、審判員は審議後に失格できる。
一、頭部や身体を密着しての攻撃。 又、突きが出来ない間合いだと審判が判断した場合は、「待て」とし、引き離します。
一、場外へ逃げた（攻撃でのダメージ含む）場合。（3回目で減点1とする）
一、手技足技を出した後、相手に攻撃をさせない為、故意に倒れ込む。
「掛け逃げ」と判断された時。
一、審判団の判断で悪質な反則攻撃や悪質な試合態度とみなされた時は即失格。
一、注意1は本戦勝敗基準無しですが、延長戦は勝敗基準は減点法を採用。
一、注意2は本戦勝敗基準反映、注意3は、減点1。注意4は即失格となる。
* 「技あり」と「減点1」は相殺する。

特別措置

- 一、全攻撃による自減は、相手選手に技有1なり、審判員の判断で最大2試合後まで選手の回復措置が計れる。試合続行不能の場合は自減による試合棄権とみなす。

特 記

- ① 道着上半身の下着着用は男子不可（特例除く）。 女子は胸当てと白か黒を着用。
- ② テーピングは、怪我報告し、許可制とします。
- ③ サポーターは、布製のみに限る。【清潔な物のみ。臭いが強い場合は交換を命じます】